

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171401797		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家 住慶		
所在地	北海道函館市谷地頭町31番8号 (電話) 0138-24-0808		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月18日	評価確定日	平成22年3月2日

## 【情報提供票より】(平成22年1月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月24日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	17人, 非常勤 人, 常勤換算 13人

## (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル2階 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000円	その他の経費(月額)	20,000~30,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	180円
	または1日当たり 1,330円			

## (4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	8名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	72歳	最高	98歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館中央病院・さこ歯科クリニック 函館協会病院・藤岡眼科病院
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念を達成する為に年間目標を掲げ、その達成度を進捗管理している母体医療法人が運営する総合福祉施設の中の2ユニットのグループホームです。また、利用者のダメージを防ぐ取り組みで職員の離職率は低く、本人が安心して日常生活を送れるような馴染みの関係の構築や職員の段階に応じた内部の年間研修計画の実践で、働きながら学ぶ機会の確保や資格取得への支援が行われケアサービスの質の向上に取り組んでいます。町内会の港祭りや文化祭への参加、近隣の子供たちや託児所の子供との交流、SOSネットワークでの地域への協力等地元の人々との協力・連携が行われ認知症に対する理解や啓発に努めています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、介護記録の帳票の改訂作業の取り組みについて改善点が挙げられていましたが、介護計画との連動した介護記録が残されており、帳票の改訂作業が順調に推移しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、見出された改善点は、職員間で話し合われケアサービスの質の向上に活かされて、その結果を運営推進会議や家族に報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されています。主な議題は感染症予防対策(ノロウイルス等)について 新型インフルエンザの予防対策について 介護記録とリスクマネジメントと取り組みについて 介護サービス情報の公表制度について 介護報酬の制度改正について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せる機会を意見箱を設置して設けていると共に苦情受付の体制や仕組みが明示されています。また、玄関に職員の顔写真が掲示され公表されていると共に定期的な広報誌の発行や一人ひとりの近況報告、お知らせ等きめ細かな情報提供も行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 七夕祭りや餅つきなどで地域の子供たちとの交流や託児所の子供たちの訪問、町内会の資源回収行事の参加、ボランティアの受け入れなど連携に努めています。また、広報誌「よろこび新聞」で敬老会、紅葉狩りや四季の杜公園散策など日常生活の様子等を町内会に配布して情報提供し、地域に理解される取り組みに努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼で唱和して理念を共有し、理念の達成に向けて年間目標を掲げ実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念達成の為に具体的な年間目標が掲げられている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	七夕祭りや餅つきなどで地域の子供たちとの交流や託児所の子供たちの訪問、町内会の資源回収行事の参加、ボランティアの受け入れなど連携に努めている。また、広報誌「よろこび新聞」で敬老会、紅葉狩りなど日常生活の様子等を町内会に配布して情報提供し、地域に理解される取り組みに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、見出された改善点は、職員間で話し合わせケアサービスの質の向上に活かされて、その結果を運営推進会議や家族に報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者家族、町内会役員、包括支援センター職員、函館市職員、民生委員、及び管理者・職員で構成され感染症対策等具体的活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、保健所や包括支援センターの研修会参加、情報交換等でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に発行している「よろこび新聞」、一人ひとりに合わせた近況報告等で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、ホーム行事参加の様子など家族に報告している。また、金銭管理は、毎月の請求書送付の際に、金銭の収支の明細を送付している。</p>		<p>町内会への広報誌の回覧や運営推進会議で認知症に関する広報活動に取り組んでいるが、地域の高齢化の現状や介護施設の利用状況、介護保険制度等さらに家族等の理解を得る広報に期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せる機会を意見箱を設置して設けていると共に苦情受付の体制や仕組みが明示されている。また、玄関に職員の顔写真が掲示され公表されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者のダメージを防ぐ取り組みで職員の離職率は低く、本人が安心して日常生活を送れるような馴染みの関係の構築や職員の段階に応じた内部の年間研修計画の実践で、働きながら学ぶ機会の確保や資格取得への支援が行われケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の離職率は低く、職員の研修や資格取得の意欲も高く、研修係が設けられてホーム内での研修会が継続的に実施されケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会やブロックでの研修会参加、親睦会開催を通じて情報交換やネットワークを作りケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には家族・本人の見学、パンフレットの案内などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人と一緒に畑作業や調理、食事の準備や後片付けをしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め近隣の商店への買い物や散歩、公園などへのドライブ等支援をしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、医師、看護師など必要な関係者と話し合い具体的な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、3か月に一度介護計画の見直しを実施し、状態の変化や必要に応じてその都度、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>特筆すべき点として、介護計画との連動した介護記録が残されており、モニタリングに活かされている。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、近隣商店でのスーパーへの買い物や町内の散歩、通院の支援など柔軟に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、看取りの指針が明確化され、できるだけ早い段階から利用者・家族とも繰り返し相談しながら職員全員で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけが行われている。また、記録等の個人情報の扱いについては、配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、買い物や散歩、調理や食事の準備、食後の後片付けなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒になって調理や食事の準備、後片付けをしている。また、給食係りが本人の希望や嗜好を検討し、食事が楽しみ事になるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら一緒に調理や食後の後片づけ、観葉植物の水やり等楽しみごと、気晴らしの支援も行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、スーパーへの買い物や町内の散歩、公園までのドライブや外食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないように取り組んでいる。また、身体拘束廃止委員会で定期的な研修を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て定期的に火災避難訓練が実施されている。また、母体法人が主催する救急救命の講習が実施され緊急時に備えた訓練が実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの具体的な食事・水分摂取量が記録されている。また、栄養バランスやカロリーは、法人の管理栄養士の助言やアドバイスを受けている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベランダからは、芝生の庭があり津軽海峡が望め日光浴やコーヒーなど楽しめる工夫がされている。また、前庭では、とうもろこしやミニトマト等の野菜が作られ楽しみ事になっている。共用空間や居室では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇やソファ、使い慣れた家具などが持ち込まれていたり、家族の写真も飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。